

ニーズの概要

ぶつけてもけがをしない素材でできた小児用ベッド

現状の課題

乳幼児は発達が目覚ましく、昨日できないことがいきなりできることも多い。入院中につかまり立ちや歩行ができるようになる子どもも多いが、ただでさえ不安定な歩行状態で布団がある不安定なベッド上では転棟のリスクが大きく柵での打撲は非常に多い。体幹が不安定な乳幼児は座位からの転棟も多い。今後、家族の付き添いがない状況での入院も増加する可能性もあり、安全なベッドの開発が望ましい。

ニーズ

今後、家族の付き添いがない状況での入院も増加する可能性もあり、ぶつけても怪我をしない安全なベッドの開発が望ましい。